

報道関係各位

2013年12月9日

## 台湾・台南市とのMOU締結について

株式会社リエイ（代表取締役：柘澤 一、本社：千葉県浦安市・本部：東京都千代田区、以下「リエイ」）は、台南市政府（市長 頼清徳）との友好的な協議を経て、以下の目的に向けた協議を進めることに関する覚書（中国名：合作備忘録）を締結致しましたのでお知らせいたします。

- ・締結日：2013年12月9日（月）
- ・目的：
  1. 台南市への投資意志を表示し、高齢者向け介護介助サービスの展開を検討する。
  2. 台南市への投資に関する情報提供及び、それに関する問題解決への協力を受ける。
  3. リエイ、台南市双方が協力し、台南市におけるより良い高齢者生活に寄与する。

### [締結の背景]

台南市は、古くから台湾の主要都市として発展した都市で、昨年10月に人口188万人を突破。人口増加率は台湾南部トップを誇る台湾五大直轄市の一つです。台南市の65歳以上の高齢者は22万人。総人口に占める割合は11.6%と、高齢化問題が深刻化しております。台湾の高齢化率も2011年度は10.9%、2015年には12.5%、2030年には23.9%と現在の日本の水準にまで達することが予想されており、高齢化問題は社会問題となっております。

台南市は、2010年に台南県と合併、直轄市昇格を機に都市外交を強化する中で対日関係強化を深めていく方針を打ち出しており、市内に日本企業向けの工業団地「台日創新園區」（TJパーク）が本格稼働するなど、日本企業との各分野での提携・MOU等の動きが活発な中にあります。

### [今後の展開]

高齢化が進む台南市と共に、現地高齢者を対象とした介護介助サービスの事業化に向けて、リエイの日本国内で培った介護総合事業キャリアや、タイ・中国（北京・上海）での介護進出ノウハウを活かし、リエイの事業展開のベースである食に関わるビジネスの可能性も追求して参ります。

以上。

※リエイ直近のアジア各国でのMOU展開は、2P目をご参照ください。

---

\*\*\*\*\*本件に関する報道関係からの問合せ先\*\*\*\*\*  
株式会社リエイ 社長室広報課 担当：大島久美（直通）TEL:047-355-4721  
受付／平日9：00～17：30・土・日・祝日定休

## 日本式介護をアジアへ！ リエイとアジア各国財閥・行政との MOU 締結について

### SAHA グループとの MOU 締結について (締結日: 2013 年 9 月 30 日)

本年 9 月、タイの有力財閥である SAHA グループと学校事業に関する覚書を締結し、グループの中核企業の一角ブティック・ニューシティが創設する専門学校「Tamara School (仮称)」内に、設置される Medical Care コース (介護士育成) の運営を、当社現地法人 Thai Riei Co., Ltd が行うというもので、現在引き続き協議を進める中で、来年 3 月開講に向けて準備が進捗しております。



#### 【SAHA グループについて】

1942 年創業、創業者は Thiam Chokwatana (ティアム・チョクワタナ) 氏。現在グループ総帥は Boonsithi Chokwatana (ブンヤシット・チョクワタナ) 氏。事業内容: 家庭用品、食品、ファッション、化粧品、不動産、発電事業等。SAHA PATHANAPIBUL PLC.(サハ・パタナピブン) など、消費財大手としても著名な一大企業グループ。グループ企業数 300 社以上(内、約 20 社がタイ株式市場へ上場)。グループの中核企業で持株会社である SAHA PATHANA INTER-HOLDING PLC.(サハ・パタナ・インターホルディングス: 投資・サービス・工業団地運営) では、日系企業と積極的に合併を進めており、グループ内に 100 社程の日系企業を有する。日本の大手家庭用品、化粧品メーカーやドラッグストア、コンビニエンスチェーン等と提携。学校関連では早稲田大学と提携し日本語学校の経営等の実績がある。

### 台湾新光保全との MOU 締結について (締結日: 2013 年 11 月 27 日)

本年 11 月、台湾有数のコングロマリットであり、五大財閥の一つ「新光集団」の中核企業のひとつ新光保全股份有限公司と、台湾の高齢者を対象とした介護介助サービス形態及び事業化に向けた協議を進めることに関する覚書 (中国名: 合作備忘録) を締結致しました。今後、台湾の高齢者に向けたサービス形態のあり方等、具体的な協議を進めてまいります。



#### 【新光集団 (Shin Kong Group) について】

1945 年創業。創業者は、台湾の獅子としても著名な実業家「呉火獅」(現、総董事長: 呉東進)。  
台湾の五大財閥 (國泰、和信、台塑、新光、遠東) の一つに数えられる新光集団は、1951 年紡織事業からスタート。金融・保険を中核に、総合病院、百貨店、セキュリティ事業、一般ガス事業、不動産・リゾート事業など多角的事業を展開する台湾有数のコングロマリット。日本との関係では、三越伊勢丹ホールディングスの合併先で、台湾で現在計 13 店舗、19 館の百貨店を展開する「新光三越百貨 (1989 年新光集団と旧三越グループと提携、両社の共同出資により 1991 年 1 号店を台北南西に開店)」が著名な他、新光保全 (総合警備保障株式会社との事業提携)、不動産: 新光国際開発 (パナホームとの提携) 等がある。古くは 1967 年に東レ・三菱商事との合併で新光合成繊維会社を設立する等、草創期から日本企業との関わりも深い。